

2019年度

著書・分担執筆

1.

論文

1. Tanibe, T., Hashimoto, T., Tomabechi, T., Masamoto, T., & Karasawa, K. (2019). Attributing mind to groups and their members on two dimensions. *Frontiers in Psychology*, 10, 840. doi: 10.3389/fpsyg.2019.00840
2. 白岩祐子・齋藤真由・唐沢かおり (2019). 司法解剖の告知による死者の非人間化：心の知覚理論にもとづく検討. *死生学・応用倫理研究*, 24, 39-57.
3. 福本都・橋本剛明・唐沢かおり (2019). 争いの被害者のパーソナリティと赦し — 視点取得の効果に着目して —. *人間環境学研究*. 17(1), 17-24. doi: 10.4189/shes.17.17
4. Tham, Y. J., Hashimoto, T., & Karasawa, K. (in press). The positive and negative effects of justice sensitivity and justice-related emotions in the volunteer's dilemma. *Personality and Individual Differences*, 151(1), 109501. doi: 10.1016/j.paid.2019.07.011
5. ターン有加里ジェシカ・橋本剛明・Manfred Schmitt・唐沢かおり (in press). 公正感受性尺度日本語版 (JSI-J) の作成. *心理学研究*
6. Hannikainen, I. R., Machery, E., Rose, D., Stich, S., Olivola, C. Y., Sousa, P., Cova, F., Buchtel, E. E., Alai, M., Angelucci, A., Berniūnas, R., Chatterjee, A., Cheon, H., Cho, I., Cohnitz, D., Dranseika, V., Lagos, Á. E., Ghadakpour, L., Grinberg, M., Hashimoto, T., Horowitz, A., Hristova, E., Jraissati, Y., Kadreva, V., Karasawa, K., Kim, H., Kim, Y., Lee, M., Mauro, C., Mizumoto, M., Moruzzi, S., Ornelas, J., Osimani, B., Romero, C., Rosas, A., Sangoi, M., Sereni, A., Songhorian, S., Struchiner, N., Tripodi, V., Usui, N., del Mercado, A. V., Volpe, G., Vosgerichian, H. A., Zhang, X., Zhu, J. (in press). For whom does determinism undermine moral responsibility? Surveying the conditions for free will across cultures. *Frontiers in Psychology*. doi: 10.3389/fpsyg.2019.02428
- 7.
- 8.

書評・評論・その他

1.

学会

1. 唐沢かおり (2019). Society 5.0 を応用哲学する：IT システムと社会規範(2), 応用哲学学会第 11 回年次大会, 京都大学, 4 月 20 日, 指定討論.
2. 唐沢かおり (2019). データ駆動社会のリスクについて—「人間中心」社会の

実現に向けたデータ活用のあり方—第55回横幹技術フォーラム「Society 5.0が実現するデータ駆動型まちづくり—展望と課題—」, 日本大学, 5月28日, 講演.

3. Tham, Y., Hashimoto, T., Shiraiwa, Y., & Karasawa, K. (2019). “Take one for the team!” The positive and negative effects of justice sensitivity in a volunteer’s dilemma in workplace scenarios. The 13th biennial Asian Association of Social Psychology, Taipei, July 12th, poster presentation.
4. ターン有加里ジェシカ・村田光二・唐沢かおり (2019). 血縁関係に対する潜在的態度と顕在的態度. 日本認知科学会第36回大会, 静岡大学, 9月5日, 口頭発表.
5. 唐沢かおり (2019). 高等学校への心理学教育の導入をめぐって. 日本心理学会第83回大会, 立命館大学, 9月12日, 話題提供.
6. 唐沢かおり (2019). ワーキングメモリの測定と概念化. 日本心理学会第83回大会, 立命館大学, 9月13日, 指定討論.
7. 唐沢かおり (2019).
8. 唐沢かおり (2019). データ活用による住民のためのまちづくりにおける社会心理学の貢献を探る. 日本グループ・ダイナミックス学会第66回大会, 富山大学, 10月19日, 企画・司会.
9. 谷辺哲史・唐沢かおり (2019). 自動運転による事故とメーカーへの責任帰属. 日本グループ・ダイナミックス学会第66回大会, 富山大学, 10月19日, 口頭発表.
10. 橋本剛明・唐沢かおり (2019). 道徳的ジレンマ判断に行為者性と自己制御が与える影響—マウストラッキングによる意思決定過程の検討—. 日本グループ・ダイナミックス学会第66回大会, 富山大学, 10月20日, ポスター発表.
11. 苫米地飛・唐沢かおり (2019). 自由意志信念とその関連信念が自己コントロールに与える影響. 日本グループ・ダイナミックス学会第66回大会, 富山大学, 10月20日, ポスター発表.
12. 白岩祐子・堀江宗正・唐沢かおり (2019). 日本人の死後観—死後生はどのように信じられているか—. 日本社会心理学学会第60回大会, 立正大学, 11月9日, ポスター発表.
13. 唐沢かおり (2019). Society5.0の課題と社会心理学の貢献. 日本社会心理学学会第60回大会, 立正大学, 11月10日, ワークショップ, 企画・司会.
14. 谷辺哲史・膳場百合子・唐沢かおり (2019). ロボットに対する心の知覚の2次元構造と利用意図—介護場面におけるコミュニケーションロボットの利用を題材とした検討—. 日本社会心理学学会第60回大会, 立正大学, 11月10日, ポスター発表.
15. ターン有加里ジェシカ・橋本剛明・唐沢かおり (2019). ボランティアのジレンマにおける構成感受性の正の影響と負の影響—「誰かがやらなければいけない」状況での行動意思の個人差—. 日本社会心理学学会第60回大会, 立正大学, 11月10日, 口頭発表.
16. 苫米地飛・唐沢かおり (2019). 遺伝子に基づく説明が責任帰属に与える影響—遺伝子本質主義の態度に着目して—. 日本社会心理学学会第60回大会, 立

正大学, 11月10日, ポスター発表.

17. Tham, Y. J., Hashimoto, T., & Karasawa, K. (2020). How people evaluate volunteers and shirkers in the volunteer's dilemma? The effect of perceived cost of volunteering. The Society for Personality and Social Psychology Annual Convention, New Orleans, LA, February 28, poster presentation.
- 18.